

授業科目 日常生活活動学実習

【担当教員名】 大山峰生・濱口豊太・貝瀬正人		対象学年	2	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
<一般目標：G I O> 日常生活活動（ADL）および生活関連活動（APDL）に関連する基礎的・応用的技法について習得する。					
<行動目標：S B O> 1. 基本動作の特徴を分析することができる。 2. ADL評価を的確にできる。 3. ADLプログラムを適切に立案することができる。 4. 代表的疾患に特有なADLプログラムを施行することができる。 5. 福祉用具を適切に選択し、実践することができる。 6. 自助具の適応、使用法、工夫点について説明することができる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ADL動作分析1			1	実習 大山
2	ADL動作分析2			1	実習 大山
3	ADL評価			2	実習 大山
4	ADLプログラム立案			3	実習 大山
5	片麻痺のADL1			4	実習 大山
6	片麻痺のADL2			4	実習 大山
7	脊損のADL1			4	実習 大山
8	脊損のADL2			4	実習 大山
9	RAのADL1			4	実習 大山
10	RAのADL2			4	実習 大山
11	その他の疾患のADL1			4	実習 大山
12	その他の疾患のADL2			4	実習 大山
13	福祉用具			5	実習 大山
14	自助具プレゼンテーション			6	実習 大山
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格・その他>
教科書		日常生活活動（動作）		土屋弘吉、他	日本医師薬出版 2002年 6650円
		ADLとその周辺		伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院 1999年 5900円
参考書					
その他の資料		プリント			
【評価方法】 出席、実習態度、期末試験		【履修上の留意点】 動きやすい服装で参加すること。			